



木名瀬しよじ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

結城野田線

境杉戸線

我孫子関宿線

つくば野田線

野田市特集

9月県議会一般質問



9月県議会一般質問を行なう木名瀬捷司議員

野田市内道路の整備促進を

大勢の野田市民の期待を担って、木名瀬捷司(きなせ・しよじ)＝野田市選出、二期＝議員は、新生野田市の発展に積極的に取り組んでいます。九月県議会での一般質問では街づくりに欠かせない道路整備を取り上げ、県当局に市内道路の整備状況について質問しました。また、交通安全のために信号機の設定も県警に要望しました。一般質問の質疑応答の要旨を特集します。

木名瀬議員 平成十五年

六月に旧野田市と旧関宿町が合併して新しい野田市が誕生したが、この合併の柱とした「新市の一体性の醸成及び均衡ある発展」に欠かせないのが交通網の整備。そこでかがうが、県道結城野田線の整備の今後の見通しはどうか。

県土整備部長 これまで

に、木間ヶ瀬交差点において、交差点改良を行ってきたところであり、引き続き早期に渋滞緩和を図るため、中里地先の権現参道入口バス停付近など二カ所の交差点において、右折レーンの設置など暫定的な改良を行う予定としております。

木名瀬議員 県道境杉戸

線の整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 関宿江

戸町地先の約四百メートルの現道拡幅と、関宿台町地先から関宿橋間の約八百メートルのバイパス整備を進めているところです。

このうち、関宿台町地先の交差点から約二百メートルの区間について、平成二十三年度から工事に着手する予定としています。

木名瀬議員 県道我孫子

関宿線の整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 これまで

に、木間ヶ瀬小学校付近の交差点から我孫子市側の約〇・五キロメートルについて供用し、現在、通学児童の安全を早期に確保するため、木間ヶ瀬小学校付近の用地取得を進めているところです。

木名瀬議員 県道つくば

野田線の整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 野田市柳沢新田地先の約七百二十メートルの区間において整備を行っており、これまでに、国道16号との交差点を含む約二百七十メートル区間について供用しているところです。

平成二十三年度には、野田市役所入口交差点を含む約二百メートル区間について工事に着手する予定です。

木名瀬議員 野田

市内の重要な道路として位置づけられていることから県道川藤野田線都市計画道路今上木野崎線の整備を県事業として早期に着手して頂きたい。また、県道川間停車場線の事業化が図られるよう要望いたします。

野田市民の願い 信号機設置推進

木名瀬議員 野田市内における信号機設置の要望数が多いと聞くが、今後どのように対応していくのか。

警察本部 野田市内における信号機設置につきましては、多くの設置要望を頂いており、平成二十年度は三基、平成二十一年度は二基を設置し、本年度は三基を予定しているところであります。

すべての要望にお応えできれば良いのですが、現実には大変困難であります。しかし、いずれの要望につきましても県民の皆様の切実なものとして理解しており、必要性、緊急性などを判断しながら、計画的に設置しているところであります。

木名瀬議員 県内

九百件の設置要望の内、野田市内が九十一件と約一割を占めていることから、出来るだけ信号機の設置を推進していただきたい。

木名瀬捷司県議プロフィール

経歴

- 昭和17年1月 野田市生まれ
- 平成6年5月 野田市議選に初当選
連続2期当選
- 平成15年4月 県議選に初当選

現職

- 県議会 健康福祉常任委員会副委員長
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 県議会議員会副会長
- 野田リトルシニア野球協会会長

県政や野田市のご相談、ご意見は気軽に

木名瀬捷司 県議事務所

〒278-0042 野田市吉春836
TEL.04(7124)1592

県財政の健全さ不可欠

木名瀬議員 先般、県は平成二十一年度の一般会計の決算見込みと財政状況の判断指数となる健全化判断比率の見込みを発表した。

一般会計の実質収支は三十一億円の黒字を確保し、健全化判断比率は四つの指標がいずれも健全とされる基準をクリアしたとされ、県の財政は一見何の問題もないような印象を受ける。

しかしながら、地方の役割は今後、一層増加するものと見込まれ、こうした時代の要請に的確に対応するためには本県財政を常に健全な状態に維持することが不可欠だ。そこだろうか、今回の健全化判断比率をどう評価するのか。

知事 平成二十一年度決算に基づく健全化判断比率は、いずれの指標も、「自主的な改善努力による財政の

自席で再質問を行なう木名瀬捷司議員



県債残高や人件費抑制

健全化」が必要と判断される「早期健全化基準」を下回ることができました。

健全化判断比率は、公営企業や第三セクターなどを含み、県全体の財政状況を把握できることなど、地方公共団体の財政状況を判断する上で、重要な指標である。

木名瀬議員 将来負担すべき実質的な負債の大きさを表す将来負担比率の低減に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 将来負担比率は、地方債現在高など、県が将来負担すべき負債の大きさを表すストック指標であり、その低減のためには、将来に向けた負担の軽減と財源確保のための取り組みを着実に実施していくことが必要に取り組んでまいります。

合併処理浄化槽の放流水

地下浸透へ県が検証

木名瀬議員 野田市は市街地を除き、住宅が点在している地区も多く、このような地区では、個別下水道とも言うべき合併処理浄化槽の普及促進が重要だ。

近年、性能が向上し放流水の水質が良くなっている。そこだろうか、放流水の確保できない地域における浄化槽放流水の地下浸透に対する県の検討状況はどうか。

環境生活部長 県では、窒素による地下水汚染の防止などの観点から、これまで、浄化槽の放流水を地下に浸透しないよう指導してまいりましたが、近年、浄化槽の性能向上により、放流水の水質改善が進んできたことを踏まえ、平成二十年度には、窒素除去能力の高い高度処理型浄化槽を対象とした放流水の実態調査を実施いたしました。

その結果、適正な維持管理が行われている高度処理型浄化槽であれば、窒素の濃度が、おおむね地下水の環境基準を下回る程度まで処理できることが確認され、放流水の地下浸透による地下水質への影響は小さいものと考えられます。

今後は、大腸菌などによる地下水汚染の防止や、地下浸透に起因する傾斜地の崩落防止など土地の安全確保といった観点からも、必要と考えられる条件の整理など、残された課題について、引き続き検討することとしております。

窒素濃度クリア

将来負担軽減と財源確保着実に

知事

児童虐待

木名瀬議員 児童虐待の早期発見には、学校などの教育機関や地域住民への啓発を行い、連携協力していくことが重要だと思いが、県の取組みはどうか。

健康福祉部長 県では、教職員の児童虐待に対する理解を高めるため、早期発

学校、家庭、市町村と早期発見へ連携協力

見や初期対応などについての実践的な研修を行っており、また、教育機関からの依頼に基づき、児童虐待をテーマとした講座に講師を派遣しております。

児童相談所や市町村に通告があったときは、子どもの一時保護や施設入所、家庭復帰、在宅支援などの支援の終結に至るまで、教育

機関とは、子どもの生活の様子や出席状況などの情報交換を行うなど、緊密に連携・協力を図っているところでございます。

木名瀬議員 児童虐待の通告・相談窓口として重要性が増している市町村に対して、どのような支援を行っているか。

健康福祉部長 市町村は、

住民から通告や相談を受ける最前線であり、県では市町村が主体的に児童虐待への対応に取り組むことができるよう支援しています。

これまで、市町村が、迅速かつ適切に児童虐待に対応するため、児童虐待や母子保健などの担当職員向けに、各種マニュアルを作成、また、虐待に関する知識、

相談、援助技術などの各種研修の実施、児童相談所職員の、市町村の事例検討会議への参加や、処遇など対応が難しいケースへのアドバイスなど、専門的な支援を行っております。

今後とも、市町村と緊密に連携し、県をあげて児童虐待防止に重点的に取り組んでまいります。

老朽化進む衛生研 建て替えを検討

木名瀬議員 衛生研究所は県民の健康にとつて、大変重要な役割を担っている。一方、現在の衛生研究所の建物、老朽化や耐震性の問題が前から指摘されていた。この老朽化の進む衛生研究所の建て替えについて、どのように整備していくのか。

健康福祉部長 衛生研究所の建て替えは、従来、がんセンター研究局との合築により整備することとしてきました。

しかし、昨年度行なった事業見直しにより、がんセンター研究局との共同研究事業として計画してきた「千葉県大規模コホート調査研究事業」が当面凍結とされたこと、衛生研究所の老朽化と耐震性の問題は、早急に対応しなければならぬ喫緊の課題であることなどの理由から、衛生研究所は単独で建て替えをしていくことを検討してまいります。

野田市特集 9月定例県議会一般質問

誠実に積極的な
市民のために

木名瀬しょうじ 県議